

## 平成 25 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 廃棄物最終処分場の廃止に向けた適正管理とモニタリング手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 廃棄物処分場が満杯になった後、廃止の決定がなされるためには、汚染物質の溶出やガス発生が安定化していることが必要であるが、具体的な手法が明確に定まっていないことに着目した課題であり、有用性の高い課題設定といえる。</li><li>○ 実際に埋め立て途上にある処分場を用いたケーススタディーを中心とした計画になっており、研究の実現性が高く、有用なデータが得られることが期待される。</li><li>○ ケーススタディーサイトは比較的条件のよい現場なので、得られた知見を将来より条件が悪いサイト（他県や民間を含む）にどう適用するかを検討も、課題と思われる。</li><li>○ 共同研究の参加機関で得られた情報の有効活用に十分留意されたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 実際の廃止の際にはサイトごとの個別の評価が必要となりますが、その評価が大きくなることは望ましくないため、科学的な根拠を少しでも多く積み重ねていきたいと考えております。</li><li>○ サイトとして使用する県営処分場は、埋立物などに関する詳細なデータがありますので、それらを有効に活用して研究を進めたいと考えています。</li><li>○ 研究を進めていく過程で、現場のニーズに応じ、他のサイトにおける調査が実施可能な場合もあると考えています。応用に当っては、まず課題の整理をしておきたいと思っております。</li><li>○ ご指摘のとおり対応させていただきます。</li></ul>

## 平成 25 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 廃棄物最終処分場の廃止に向けた適正管理とモニタリング手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<p>○ 神奈川県にとどまらない重要な研究課題であると認識します。また、このような調査は設置者の協力が得られる場所でしか行えないので、貴重な試みであると評価します。</p> <p>○ 2年の計画であるが、調査の頻度は減らしても継続的な調査が望まれるように考えます。</p> <p>○ 水質のモニタリングは、硫化物などが予定されているが、その他のイオンや化学物質も可能な範囲で加えていただけると、新しい発見につながる可能性がある。埋め立てられている廃棄物から溶出する可能性のある化学物質などを探索して追加することを検討していただけるとありがたい。</p>	<p>○ ご指摘のとおり、現場調査はまず設置者にどう許可を得るかで苦勞することが多くあります。今回は現場と密接に連携をとりながら進めていきたいと考えております。</p> <p>○ 当面2年間の計画とさせていただきますが、必要に応じて継続的な調査を検討させていただきます。</p> <p>○ 水質モニタリングについては、これまでも他の処分場を含めて様々な化学物質モニタリングを実施してきた経緯がありますので、可能な範囲で実施したいと考えております。</p>

## 平成 25 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 廃棄物最終処分場の廃止に向けた適正管理とモニタリング手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最終処分場の廃止は、多くの自治体で廃止基準の明確化を求める声は多い。廃止基準のうち、浸出水中の汚濁成分濃度などは、基準が明確であるが、熱、ガスなど、現在、具体的な、モニタリング手法、基準の設定の根拠が明確となっていない。</li> <li>○ 本研究で、共同研究として複数機関で多面的に検討することは、県内のみならず、全国の問題解決に成果が活用できる可能性を持っている。</li> <li>○ 処分場で今年度実施されるキャッピングの効果については、具体的な条件が明確でないことから、施工条件が決まり次第、研究での調査方法の詳細を決定し調査に入ることを望む。</li> <li>○ 研究成果により、県で保持する処分場の早期安定化、早期廃止が進むという可能性が高く、県として実施する研究の重要性は高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご指摘のとおり、今回の研究テーマについては、現場の事務担当者の要望が多かったことから設定することになりました。</li> <li>○ 各研究機関が得意とする分野がそれぞれありますので、様々な技術に関する情報交換や課題に関する議論をしながら進めたいと考えております。</li> <li>○ ご指摘のとおり、キャッピングの詳細設計の段階から適用可能な手法の整理を含めて検討し、適切な調査が実施できるよう計画的に進めたいと考えております。</li> <li>○ 一足飛びに安定化が進むということは難しいだろうと考えていますが、1歩ずつでも成果を積み重ねていく必要があると考えております。</li> </ul>

## 平成 25 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 廃棄物最終処分場の廃止に向けた適正管理とモニタリング手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 最終処分場の廃止に関する分析は県のみならず全国的に重要な課題、廃止後の用途も決まっているということで、緊急性もかなりあると考える。</li><li>○ この処分場についてはかなり安定した廃棄物が多いので有機物が多い処分場の参考にはならない向きもあるが、内容物もよくわかっており貴重なデータが得られる研究。廃止はかなり長期にわたった管理が必要となるので、ぜひ2年でとどめず長期的にデータを取る研究を行っていただきたい。</li><li>○ 埋め立て物の変化と降雨量の関連も含めた解析を行っていただきたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ ご指摘のとおり、緊急性も高いことから検討を進めさせていただきます。</li><li>○ 必要に応じて継続的な調査の実施も検討させていただきます。</li><li>○ ご指摘のとおり、解析を進めさせていただきたいと思います。</li></ul>